

みなさま
ご存知ですか？



大切なお知らせです。
ぜひともお読みください。

LPGをお使いのお客さまへ

このまち思いエネルギー。
広島ガス

ガス機器を安全にお使いいただくための

ガスライフ安心ガイドブック

Q1 緊急連絡先をご存知ですか？

Q2 ご使用のガスの種類をご存知ですか？

Q3 ガス管のお取り替えをお考えですか？

Q4 マイコンメーターの復帰方法をご存知ですか？

Q5 自然災害への対応をご存知ですか？

Q6 ガス機器の安全機能の進化をご存知ですか？

Q7 日常の注意点をご存知ですか？

Q8 正しい接続方法をご存知ですか？

Q9 プロの方、業務用でのガスの使い方をご存知ですか？

検索

広島ガス

A4

マイコンメーターの復帰方法
マイコンメーターでガスが止まった時は、下記のご対応を！

マイコンメーターは、こんな時にガスを遮断します。

地震

機器の
消し忘れ

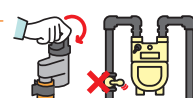
多量の
ガス漏れ

機器の
長時間
使用

復帰の手順
ガス臭くなく、表示ランプが赤く点滅している場合は、次のように操作してください。

①ガス機器を止める

器具栓を閉じるか、運転スイッチを切り、すべてのガス機器を止めてください。メーターガス栓は閉めないでください。

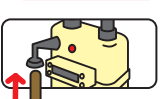


②復帰ボタンを押す

復帰ボタンのキャップを左に回して外し、奥までしっかり押して、赤ランプが点灯したら、手を離してください。



【高いところにマイコンメーターがある場合】
復帰レバーを棒などで押し上げてください。



③3分待つ

復帰ボタンのキャップを元に戻し、約3分お待ちください。再度赤ランプが点滅を開始しますが、この間にガス漏れがないか確認していますので、ガスを使わないでください。



④ガスの使用開始

3分後、赤ランプの点滅が消えていればガスが使えます。



正常に復帰しない場合や不明な点がある場合は広島ガスへご連絡ください。

A1

緊急連絡先
下記へご連絡ください！

「ガス臭い」など異常を感じたら



屋外で

共用部で

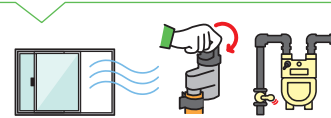
屋内で



火気は絶対に使用しないでください！



窓や戸を大きく開け
ガス栓やメーターガス栓を
閉めましょう



お名前、ご住所、ご近所の目標など、その場の状況をお知らせいただき、安全な場所に避難してください。

ガス臭い・ガス漏れの通報 [24時間365日]

●広島ガス保安指令センター

広島・東広島地区 TEL 082-251-3219

呉地区 TEL 0823-22-3219

尾道・三原地区 TEL 0848-22-3219

ガス料金などその他のご用件は

●広島ガスお客さまセンター

【受付時間】
平日 8:50~19:00
土・日・祝日、年末年始(12/31~1/4)、5/1 8:50~17:30
※ナビダイヤルをご利用にならない場合(一部IP電話・海外からのご利用など)は082-251-2176へおかけください。

0570-002-888

ガス機器修理のお問合せは[24時間365日]

●広島ガスお客さまセンター修理受付

※ナビダイヤルをご利用にならない場合は、上記のお客さまセンターへおかけください。

0570-005-502

2024.10.D 3600

A5

自然災害への対応
地震・台風などの自然災害には、下記のようなご対応を！

①地震のときは、身の安全を最優先に

まずは机の下に身を隠すなどしてください。震度5相当以上の地震の場合は、ガスメーター(マイコンメーター)が自動的にガスを遮断します。あわてず落ち着いて行動しましょう。

②揺れがおさまったらガスの火を消してください

ガス機器を使用していた場合、器具栓を閉めて火を消し、ガス栓も閉めてください。



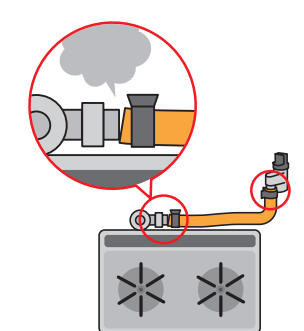
③自然災害のあと、ガスをふたたび使う場合

●ガス機器周囲でガスの臭いがしないか

●ガス機器本体に変形・破損など異常がないか

●煙突式などの屋内外の給排気設備に異常がないか
(外れ・凹み・穴あきがないか目視で確認してください)

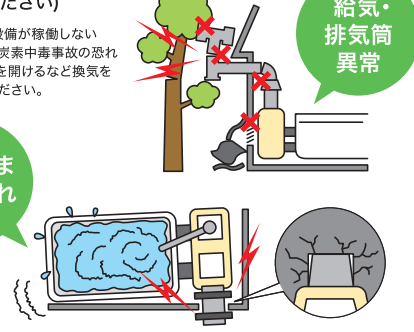
●ガス接続具が正しく接続されているか(接続具に外れがないか目視確認してください)



給気・排気筒異常

※停電等で換気設備が稼働しない場合は、一酸化炭素中毒事故の恐れがあるので、窓を開けるなど換気を十分にしてください。

ふるがま位置ずれ



異常を確認した場合

ガス臭いなどの不快なにおいがしないか、十分確認してください。給排気設備に異常がある場合は火災や一酸化炭素(CO)中毒など事故の恐れがあります。すぐに広島ガスまでご連絡ください。

左記の異常がなく、ふたたびガスを使う場合は、マイコンメーターの復帰作業(上記参照)を行ってください。

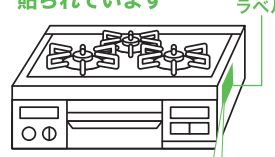
A2

ガスの種類
お届けしているガスはLPGです。

ガス機器は
ガスの種類と合うものを！

ガスの種類に適合していないガス機器をご使用になると、不完全燃焼による一酸化炭素(CO)中毒や火災の原因となり非常に危険です。ガス機器とガスの種類が適合していない場合は、ガス機器の調整(有料)の必要があるため、広島ガスにご連絡ください。新しくガス機器をご購入の時や、お引越しによりガス機器を持ち込まれる時には特にご注意ください。

ガス機器には、
適応するガスの種類を
示した「ラベル」が
貼られています



ラベル

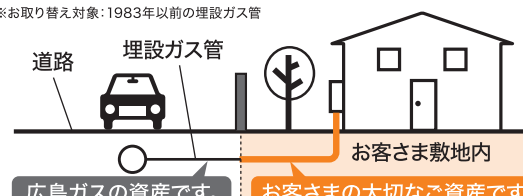
AB-120-L-.....型式
LPG.....適応するガスの種類
000kW (0000kcal/h).....ガス消費量
201201-0001.....製造年月日・製造番号
株式会社.....メーカー名

A3

ガス管のお取り替え
埋まっているガス管は、およそ
20年がお取り替えの目安です。

見積り無料。広島ガスにご連絡ください。

敷地内に埋設された白ガス管は、およそ20年がお取り替えの目安です。
※お取り替え対象：1983年以前の埋設ガス管



道路

埋設ガス管

お客さま敷地内

広島ガスの資産です。

お客さまの大切な資産です。

ガス管の資産区分

A6

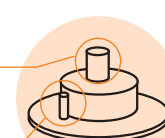
ガス機器の安全機能
日々、ガス機器は進化しています！
安全型へのお取り替えも！

ガスコンロ

●温度センサー
天ぷら油が発火点になる前にガスを止め火災を防止します。

●立消え安全装置
煮こぼれや点火ミスなどで火が消えた時、自動的にガスを止めます。

Siセンサーコンロには、すべてのバーナーに安全センサーがついています。



小型湯沸器・ガス暖房器

●不完全燃焼防止装置
換気のし忘れや、熱交換器やフィルターの目詰まりがあった時、炎の異常を検知し自動的にガスを止めます。

不完全燃焼防止装置が作動した時は使用を中止してください。

不完全燃焼防止装置付の機器でも必ず換気をしてください。

ガス警報器

万一ガス漏れが発生した場合、ランプと警報音でお知らせします。24時間頼りになる暮らしの見張り番です。

※交換期限(5年間)が来たらお取り替えが必要です。



A7 日常の注意点

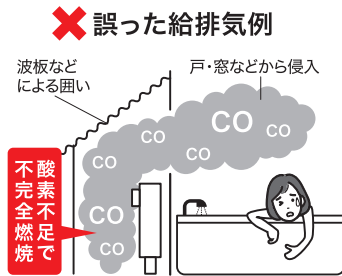
ガスをお使いの時にはまず換気!日常点検も基本です。

日頃から換気や点検をしてください

ガスが燃えるには、新鮮な空気が必要です。換気が不十分な状態でガス機器を使用すると不完全燃焼を起こし、一酸化炭素(CO)中毒になる恐れがあります。屋内でガス機器をお使いになる場合は、換気扇を回すか、窓を開けて換気をしてください。

屋外設置用のガス機器を波板などで囲わないでください

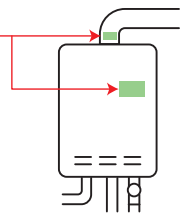
屋外設置用の機器を屋内に設置したり、波板などで囲ったりすることは、大変危険です。波板などで囲われることにより、機器が不完全燃焼を起こし、一酸化炭素(CO)中毒の原因となる恐れがあります。



屋内にガスふろがま、湯沸器等の設置をする時には、資格が必要です

ガスふろがま大型湯沸器、排気筒(煙突)などの改善工事や、新たにガス機器を設置される際には、国で定められた資格が必要です。また、設置後は法令で定められた表示ラベルが付されていることをご確認ください。

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示
工事事業者の氏名 〇〇〇〇設備
又は名称及び連絡先 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
資格証の番号 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
施行内容及び施行年月日 〇〇〇〇年 〇月 〇日



ガス機器の排気口や周辺に可燃物を放置すると火災の恐れがあります

ガス機器は取扱説明書の記載に従い、周囲との離隔距離を正しくとってください。機器のまわりや上方にタオル掛けなどを設置しないでください。

ガス機器および接続具は使用される前に取扱説明書を確認してください

取扱説明書に従って、日常点検や定期点検を行ってください。

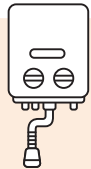
ガス小型湯沸器

●不完全燃焼を起こしている恐れがあります

使用中に火が消えた場合、再点火を繰り返さないでください。ただちに使用を中止し、修理の手配をお願いいたします。修理の受付は広島ガスで承ります。

●不完全燃焼を起こす場合があります

小型湯沸器による浴槽へのお湯張り、シャワーなどの長時間使用、洗濯機への給湯は不完全燃焼の原因となり、大変危険です。熱交換器の目詰まりなどが、不完全燃焼を起こし、一酸化炭素(CO)中毒の原因になることがあります。時々上部(遮熱板の下)に汚れや詰まりがないか確認してください。



ツマミが2つの小型湯沸器は、不完全燃焼防止装置が付いていない代表的なタイプです。不完全燃焼防止装置付小型湯沸器へのお取り替えをおすすめします。

ガスコンロ

●不完全燃焼を起こす場合があります

バーナーが目詰まりしたまま使うと、危険です。時々、ワイヤーブラシなどでバーナーヘッドの清掃をしてください。メーカーの純正品以外のご使用は、不完全燃焼を起こし、一酸化炭素(CO)中毒の原因となる場合があります。(例えば、市販されているガスコンロ用省エネリングなど)



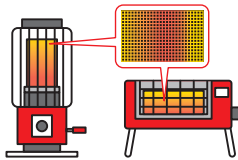
●火災の原因となる場合があります

揚げ物をしている時やグリルを使用している時は、その場から離れないことが大切です。来客や電話などでその場から離れる時には、必ず火を止めてください。揚げ物は温度センサーのついている側をご使用ください。また、使用中にはコンロの火が着衣に引火しないようにご注意ください。

金網ストーブ

●不完全燃焼を起こす場合があります

金網変形や炎あふれがあるときはもちろんですが、外観がきれいでも内部のほり詰まりなどで不完全燃焼を起こしやすくなります。暖房シーズン前に点検(有償)をおすすめします。

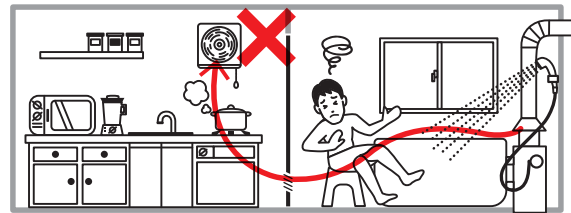


不完全燃焼防止装置付ガスファンヒーターなどへお取り替えください。

排気筒(煙突)式の高ス風呂がま・湯沸器

●一酸化炭素(CO)中毒を起こす場合があります

浴室内にガスふろがまを設置している場合には、お風呂を沸かしている時やシャワーを使っている時は隣の台所で換気扇を使用しないでください。ガスふろがまの排気が浴室内に逆流し、危険です。ご使用中に不快なニオイや目がチカチカするなど異変を感じた場合には、ただちに使用を中止し、広島ガスにご連絡ください。



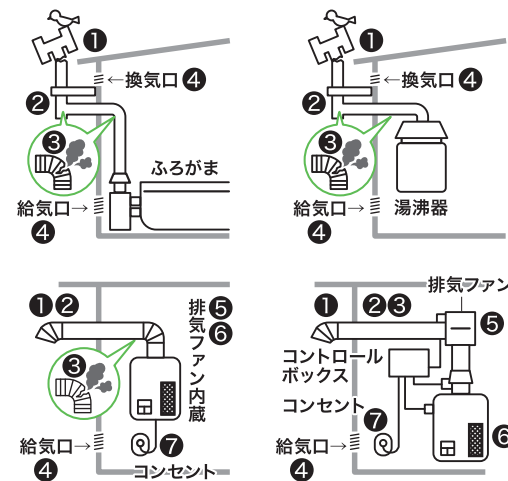
●火災の原因となる場合があります

ガスふろがまを使用される場合には、空だきに注意しましょう。ガスふろがまや浴槽を傷めたり、火災の原因にもなります。また、ガスふろがまが水につかると故障の原因にもなります。

●日頃から下記の点検を行ってください

排気筒などの点検

- ①排気筒に鳥の巣などの異物が詰まっていますか?
 - ②排気筒に固定金具がなかったり、グラついたりしていませんか?
 - ③排気筒に穴あき、外れがありませんか?
 - ④給気口や換気口がふさがれていませんか?
- さらに、排気ファンが付いている場合は、以下の点検も行ってください。
- ⑤ご使用中にファンが作動していますか?
 - ⑥機器の排気口やフィルターにほりかき詰まっていますか?
 - ⑦電源プラグはコンセントに差し込まれていますか?



隠ぺい部の点検

天井裏などの排気筒の外れや、巻いてある断熱材にシミや穴あきがないか、点検してください。

屋内に設置してある古いタイプの高ス風呂がま、ガス湯沸器をお使いの場合は、より安全なガス機器へのお取り替えをおすすめします。

A8 機器の接続方法

下記のような正しい接続を行いましょう!

正しい接続具をご使用ください

- 接続具は、ガス機器やガス栓にあった適切なものを正しく接続してください。
- 古くなったゴム管や接続具は早めにお取り替えください。

使っていないガス栓は開けないで

使わないガス栓にはガス栓キャップをかぶせてください。



ガス栓	接続具	ガス機器接続口
ホースエンド型ガス栓	使用禁止 ゴム管用ソケット ガス用ゴム管	・コンロ ・炊飯器 (タイマー無)
コンセント型ガス栓	ゴム管用ソケット ガス用ゴム管	・コンロ ・炊飯器 (タイマー有)
コンセント型ガス栓	ガスコード	・スリムプラグ型 ・ファンヒーター ・炊飯器 (タイマー付)
ホースエンド型ガス栓	接続禁止 ガス用ゴム管 ガスコード	・スリムプラグ型 ・ファンヒーター ・炊飯器 (タイマー付)

- ガスコードの使用目安は7年です。外観上異常がなくても、ガス機器を取り替える際や7年を目安に、新品のガスコードにお取り替えください。

A9 プロのみなさまへ

下記のように正しくガスをお使いください。

日頃から清掃しましょう

- 排気ダクトの清掃が不十分な場合、油脂やほりかき詰まり、ガス機器の炎や熱の影響を受け、ダクト火災が発生する可能性があります。



業務用換気警報器設置のすすめ

- 換気不足などでガス機器が不完全燃焼した場合に発生する一酸化炭素(CO)を検知し、音声でお知らせします。



理・美容院、工場などで特殊な薬品をご使用の場合

- 理・美容院、クリーニング店、工場などで特殊な薬品をご使用になると、ガス機器の内部や排気筒を傷めることがあります。ガス機器の故障や、一酸化炭素(CO)中毒に至る可能性があります。

安全設備は定期的に点検を実施し、操作方法の周知をしましょう

- ガス警報器が正しい位置に取り付けられているか確認し、ガス漏れ警報設備や自動ガス遮断装置などを、定期的に作動点検してください。
- 飲食店などで大地震など災害が起き、ガス臭いときや危険を感じた場合は、お客さまをお守りするため、すみやかに安全な場所へ避難誘導してください。
- テナントのオーナーや店主の方は、テナントで働くすべての従業員の方に安全設備の必要性和操作方法の周知をしてください。